

なすまち

議会だより

CONGRESS NEWSLETTER NASU TOWN

2026

2

No.179

もくじ

政策提言書提出	2
審議議案と賛否状況	4
一般質問	5
委員会活動	14
議員見聞録	18

Photo 学びの森小学校



令和7年度 政策提言書を 町へ提出しました

町民の皆さまの声を町政に確実に届け、持続可能な那須町の将来像をともに描いていくため、今年度も重要な政策に関する提言をとりまとめ、12月23日に政策提言書として町へ提出しました。

政策提言書はこちらから
見ることができます。



政策提言の内容

消防団員の熱中症対策について

課題

令和7年6月1日改正労働安全衛生規則が施行され、熱中症対策体制整備等が事業者に義務付けられた。消防団員は夏季においても、火災、災害、行方不明者捜索などに出動し、猛暑にさらされる場面があり、熱中症の危険性がある。

提言

消防団の熱中症対策体制整備を行い、団員の安全な活動を確保するとともに、消防団運営に支障がないよう予算措置を行うこと。

消防団組織の再編について

課題

消防団員の成り手（40歳未満）が減少している事から、団員が高齢化し、また特定の団員が常に現場に出動するなど負担が増加し、各部の活動が疲弊している。人口減少の傾向はこれからもさらに進む事が予想され、部の運営がさらに圧迫され活動が困難になる恐れがある。

提言

①消防団組織における部の統合、車両の配置変えなど再編の時期が来ている。町の防火・防災体制を見直すとともに、消防団との協議を進め、消防団組織の再編について議論を進めること。
②消防団詰所の建て替えについても、消防団組織の再編を考慮しつつ、適切に実施すること。

クマ出没対策について

課題

全国的にもクマの出没や被害が急増しており、町民の不安が高まっている。対策については、クマの生息確認、クマ情報の発信、実施隊の活動支援など多岐にわたるが、町民や観光客の安全・安心のため、十分な対策が求められる。

提言

①町の公式LINEを活用し、出没アラートを実施すること。
②実施隊に対するクマ見回りの手当を増額すること。
③町の広報車の効果的運用により、住民への注意喚起を行うこと。
④クマの生息地となる荒廃地の整備にかかる地域活動の支援を行うこと。

道路整備改良について

課題

町の観光客の入り込み数は年々増加している。しかしながらその入り込み数増加により、土日や紅葉時期、夏休み期間など限定的箇所となるが交通渋滞が発生している。観光客のみならず地域住民にとっても大きな課題、問題となっている。

提言

今後更なる入り込み数の増加を望むにあたり、道路整備改良が必要と思われる。特に道の駅那須高原友愛の森、広谷地交差点付近の渋滞解消に向けて、県道については、町として道路改良事項の要望に努めること。また、町道については宿泊税等を活用した道路改良や新規道路計画を含めた道路整備を予算化し進めること。

矢の目ダムについて

課題

町は矢の目ダムエリアのさらなる利活用を考えているが、現在貸し付けをしている湖面貸し付けエリアについてはトイレや駐車場等の整備が不十分である。さらなる利活用には、それらの整備が必須である。

提言

矢の目ダム湖面エリアのトイレの設置、駐車場付近の道路や入り口の拡張を早急に検討し、進めるここと。トイレについては防災時にも活用できるものを設置することで、利便性だけではなく、災害時に備えた町民への安心にも繋がる。駐車場付近の道路や入り口の拡張を行うことで、さらなる増客が見込めるだけでなく、緊急時の安全確保にも繋がる。

ふるさと定住対策(移住・定住対策について)

課題

人口の増加を実現するために、即効性があるのは転入者による社会増である。転入者の住まいは「持ち家」と「借家」に分かれ。借家住まいだと家族構成、生活条件が変化すると転出する可能性が高く、結果として転出につながり社会減となる。

提言

若者に「持ち家」の整備ができる場を提供することで、家族構成、生活条件が変化しても転出につながりにくく、若者に移住・定住対策を強化するために、グリーンハイツ田中のように、町が宅地造成を行うこと。

子育て支援について(ファミリーサポート事業について)

課題

ファミリーサポート事業の利用料金は、現在、1時間あたり利用者500円で、町から500円の助成があり、提供者には1,000円が支払われている。提供会員の負担に見合った適切な料金設定が必要である。

提言

提供会員が最低賃金以下の料金でサービスを提供し続けることは、経済的に持続可能な事業運営を阻害する可能性がある。会員が最低賃金レベルの収入を確保できているか、事業の継続性を維持できるかという観点から、料金設定を見直す必要があると考える。最低賃金の不足分をファミリーサポートセンター事業支援活動助成金で補うこと。

二地域居住について

課題

那須町は、全国二地域居住等促進官民連携プラットフォームの共同代表ならびに事務局となっており、二地域居住を推進しているが、町に住民票がない場合は行政サービスの利用に制限があることや、学校や保育園利用等の問題、二地域間の交通費などの経済的負担に関する課題がある。

提言

本町が都市と地方の新しい関係の構築を先導する存在となるためにも、二地域居住者の受け入れに向け、一時的に学校・保育園の利用や二地域間の交通費の助成などの制度の整備と支援を検討すること。

審議議案と賛否状況

第7回定例会 11月28日～12月10日

全ての議案について全員賛成で可決されました。

議案番号	上程議案
議案第1号	令和7年度那須町水道事業会計補正予算(第2号)の専決処分について
議案第2号	那須町一般旅券印紙等購入基金条例の一部を改正する条例について
議案第3号	議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例等の一部を改正する条例について
議案第4号	那須町体育施設条例等の一部を改正する条例について
議案第5号	那須町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
議案第6号	那須町空家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例について
議案第7号	那須町民バス設置条例を廃止する条例について
議案第8号	栃木県市町村総合事務組合規約の変更について
議案第9号	令和7年度那須町一般会計補正予算(第4号)について
議案第10号	令和7年度那須町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について
議案第11号	令和7年度那須町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
議案第12号	令和7年度那須町介護保険特別会計補正予算(第3号)について
議案第13号	令和7年度那須町水道事業会計補正予算(第3号)について
議案第14号	令和7年度那須町下水道事業会計補正予算(第1号)について
議案第15号	工事請負契約の変更について

委員会付託審査(予算審査特別委員会)

議案第9号 令和7年度那須町一般会計補正予算(第4号)について

上記議案は、定例会初日に予算審査特別委員会に審査が付託され、12月9日に委員会を開催しました。歳出における主なものは、障害者自立支援費、図書館の空調機更新工事費、スポーツセンターの施設照明改修工事費などで、補正額は、歳入歳出それぞれに4億1,170万円を追加するものでした。質疑の後、採決を行い「議案第9号 令和7年度那須町一般会計補正予算(第4号)について」は全員賛成で可決しました。

委員会調査で得た
意見などを集約し
質問しました

矢の目ダム周辺整備について

質問 今後の周辺利活用促進計画は

町 ▶ 企業提案を含め可能性を検討



ひらやま てるたか
平山 輝貴 議員

動画配信が
見られます

問 今後の矢の目ダム周辺利活用促進をどのように計画しているか。

答 【企画政策課長】町有地の周辺道路は必要な道路幅員が確保できており、造成などを伴う大規模な開発は困難であるが、引き続き民間企業からの提案を含め、利活用の可能性を検討していきたい。

問 SUP^{*1}やキャンプ場により、多くの利用者が見込まれる中、訪れる方々の安全にも考慮が必要。災害対策も含めたインフラ整備は。

答 【総務課長】町の災害対策は地域防災計画に基づき取組んでいる。ダム周辺の状況に応じ、道路や情報通信など、必要に応じて検討していきたい。

*1… スタンドアップパドルボード
矢の目ダムを利用して行われているアクティビティ。



利活用促進が期待される
矢の目ダム周辺

町道の環境整備について

質問 自治会活動が困難な中、町の施策は

町 ▶ 業者委託などの施策を調査研究

問 高齢化などにより、自治会による除草、ごみ拾いの実施が困難になってきている。町は現状をどう捉えているか。

答 【総務課長】自治会構成員の減少、高齢化により地域の環境整備が難しくなってきていることは認識している。自治会が継続して活動できるよう、組織の再編等も含めた運営見直しの支援を行っていきたい。

問 道路安全上も環境整備が必要だが、自治会による実施が困難になる中、町はどのような施策を考えているか。

答 【建設課長】道路利用者の安全安心の観点から環境整備は重要であると認識しており、各自治会に応じた活動をお願いしている。更なる高齢化などにより、自治会の負担が増える事が予想されることから、業者への委託や企業団体ボランティアによる協働の拡充など持続可能な施策を調査研究していく。

高齢化社会に向けた
利用者に優しい
交通手段を



動画配信が
見られます

不登校対策について

質問 不登校が増加している要因は

町 ▶ 不登校に対する認識の変化

木村 秀一 議員

問 不登校児童生徒が年々増加している要因をどのように捉えているのか。

答 【教育長】教育機会確保法の施行により、不登校というだけで問題行動ではなく、児童生徒の意思を尊重するといった保護者や教職員の不登校に対する認識の変化が大きな要因と考える。

問 登校してみたい、居心地が良いと思える学校づくりをどう考えるか。

答 【教育長】心の居場所づくりや人間関係の構築支援、分かりやすく楽しい授業づくり、家庭や地域との連携などが必要と考える。

問 小学校へ校内フリースクールを設置する考えは。

答 【学校教育課長】本町において校内フリースクールは中学校での取組みであり、現在、小学校では保健室などが活用されている状況。校内フリースクール設置は現状を把握し必要性について調査したい。



高齢者の交通支援について

質問 目的地の増設の考えは

町 ▶ 要望に応じて検討

問 定額タクシーサービスの利用は指定目的地と自宅の往復のみの運行だが、目的地から他の目的地への運行の考えは。

答 【ふるさと定住課長】一般タクシーとの差別化を図っているところであります、ご理解いただきたい。

問 目的地として道の駅もしくは、生きがいサロンなどを増やす考えは。

答 【ふるさと定住課長】道の駅はエリア外で増やすことは難しい。生きがいサロンなどは、エリア内であれば要望に応じて検討していきたい。

問 那須町福祉タクシー料金助成事業の条件緩和として同居等の親族が週5日以上仕事をしている場合、就労証明書の提出で交付の対象とする考えは。

答 【保健福祉課長】公共交通の一部分であり、課題の一つとして捉えている。



定額タクシーサービス

■ほかに「脱炭素社会への取組みについて」の質問もしています。

補聴器装着は
難聴対策として
早いほど良い



動画配信が
見られます

除染除去土壤等の暫定集約について

質問 集約場所変更・安全性の説明は

町 ▶ 周辺自治会などへ説明会を開催

おの ようこ
小野 曜子 議員

問 集約場所を、閉鎖された「マウントジーンズ那須」跡地に変更したが安全性などへの不安に対して全町民への説明はどうなっているか。

答 【環境課長】周辺自治会や事業者に地元説明会を開催した他、欠席された方への資料の送付、個別の補足説明をしている。



集約予定の
「スキー場・マウントジーンズ」の跡地

問 町民から集約施設の地下及び周辺の水質検査の実施を求める声が出ているが、水質検査は実施されるのか。

答 【環境課長】環境省のガイドラインに従い、敷地境界における集約作業中、集約後の維持管理期間中における空間線量率などモニタリングをする予定。水質検査は具体的に明記されていないがその他留意事項に「地域とのコミュニケーションとして安全性を分かりやすく伝える事が重要」とされていることから今後実施について検討している。

加齢性難聴者への支援について

質問 補聴器購入費用の助成制度創設は

町 ▶ 国において公的医療支援が望ましい

問 補聴器購入費用への助成は全国的に行われている。2025年6月時点で464自治体まで広がっている。県内でも広まってきている。県内での助成の状況は把握しているか。

答 【保健福祉課長】令和7年度時点で県内25自治体のうち8自治体で助成を実施している。



耳掛け型補聴器

問 補聴器購入費用の助成制度を創設する考えは。

答 【保健福祉課長】高齢者への支援は総合的に検討が必要である。助成制度については国においてエビデンスに基づいた保険適用にするなど公的医療支援が制度化されることが望ましい。現時点では町単独による助成制度を行う考えはない。

■ほかに「子育て支援」「物価高騰対策」「感染症対策」の質問もしています。

子どもから大人まで
目を向けていく



動画配信が
見られます

小中学校のスクールバスについて

質問 スクールバスの更新時期は

町 ▶ 車両の状況も考慮し判断している

み うら ようこ
三浦 陽子 議員

問 停留所の待機スペースは十分に確保できているのか。

答 【学校教育課長】確保できていないところはあるが、選定はカーブ付近や交差点付近を避け、一時停車に適した箇所を選定している。

問 運行ルートの見直しは定期的に行っているのか。

答 【学校教育課長】必要に応じて年度初めの時期や委託更新時に併せて実施。

問 スクールバス車両の更新時期は。

答 【学校教育課長】車両の安全性を重視し、走行距離、使用年数、修繕記録、更には受託している運転手の意見を参考に更新している。

問 更新のための予算確保は。

答 【学校教育課長】安全を最優先に考え、更新に必要な予算を確保している。

問 運行中の児童生徒の安全確保は。

答 【学校教育課長】各学校で安全な乗り方などの指導を行っている。



那須町のスクールバス

高齢者支援について

質問 窓口での手続き簡素化は

町 ▶ 書かない窓口を現在整備中

問 高齢者が行政手続きに困難を感じている状況を町はどう捉えているか。

答 【総務課長】手続きによっては、複雑さが負担になっていると認識している。

問 高齢者への窓口での具体的な対応は。

答 【総務課長】ロビーに総合案内窓口を設置。住民生活課、保健福祉課、税務課はカウンターを低くして座って申請等ができるよう対応。さらには、職員が出向き一箇所の窓口で完結できるよう利便性の向上を図っている。

問 マイナンバーカードを利用した、より簡素化した窓口の考えは。

答 【町長】自治体と住民の接点の多様化、充実化、業務改善を通じ利便性の向上とデジタル・フロントヤード^{※1}改革を進めている。

問 デジタル化が進む中、今後の支援体制は。

答 【企画政策課長】デジタル専門人材や地域活性化起業人、関係機関との連携強化。

※1…自治体DXの中核概念で、住民と行政の接点をデジタル技術で改革し、住民の利便性向上と職員の業務効率化を同時に実現する取組み。

戦争遺族の立場に
立った継承を



動画配信が
見られます

一般質問

戦後80年を契機にすべきこと

質問 戦後の史実を伝える取組みは

町 ▶ 今後もできる限りの史実を伝える

むろい たかお
室井 高男 議員

問 教育現場での平和教育はどのように行われているのか。

答 【教育長】平和教育の一環として中学生を広島に派遣し、戦争の悲惨さや命の尊さについて学ぶ機会を設けている。

問 那須町の遺族会の活動状況は。

答 【保健福祉課長】那須町遺族会の総会、戦没者追悼式の開催など活動を行っている。

問 高齢化に伴う会員減少に対しての支援は。

答 【保健福祉課長】運営費補助金の支出の他、社会福祉協議会が事務局として支援している。また、町と遺族会で協議を行っており、今後どのような支援ができるのか検討していきたい。

問 戦争関連資料の民間からの提供状況は。

答 【生涯学習課長】民間からの資料提供は歴史探訪館において戦争関連資料についても受け入れている。

那須町特定居住促進計画について

質問 特定地域を限定した理由は

町 ▶ 空き家の活用可能性のある地域を選定

問 地域指定以外の地域について今後どう進めるのか。

答 【ふるさと定住課長】必要に応じて特定居住促進区域として追加していきたい。

問 特定居住支援法人^{※1}の申し込み状況は。

答 【ふるさと定住課長】現時点で申し込みはないが、3法人が申請に興味を示している。

問 特定居住支援法人に対しどの様な支援をするのか。

答 【ふるさと定住課長】地域における二地域居住推進の担い手として位置づけており、町の特定居住促進協議会の参加により、商工会などと連携を図ることが可能となり、空き家の情報などを受けられる。

問 事業計画で5年後の成果について何を期待しているのか。

答 【ふるさと定住課長】特定居住支援法人は単に二地域居住・移住促進の窓口にとどまらず、多様な人々が関わり支え合う新たな担い手として活躍を期待する。

※1…地方自治体が策定する「特定居住促進計画」に基づき、移住・二地域居住を支援するために市町村長が指定する法人。

■ほかに「定住対策」の質問もしています。

教育に特化した政策が
打ち出せれば
移住促進に繋がる



地域の活性化について

質問 転入者の自治会加入促進は

町 ▶ 加入案内と声掛けの推進

田村 なみゆき
議員

問 地域活性化には女性の活躍が重要であると考えるが町の見解は。

答 【総務課長】自治会連合会会議や研修の場で、各自治会の事業活性化や参加者を増やす取組みの情報共有を実施。また、課題等について自治会対象のアンケート調査を実施している。

問 転入者の自治会への加入促進の取組みは。

答 【総務課長】転入手続き時に加入案内のチラシを配布。さらに自治会長にマニュアルを配布して直接声掛けなどを行っている。

問 地域活性化には女性の活躍が重要であると考えるが町の見解は。

答 【生涯学習課長】女性の活躍は大変重要。町民が互いを尊重し、それぞれ個性と能力を発揮し、男女ともに支え合い皆が輝き活躍できる町を目指したい。

問 男女共同参画の推進には男女双方の意識改革が重要だが取組みは。

答 【生涯学習課長】公民館事業で男女平等な事業の取り入れや、人権教育などの推進。

少子化対策について

質問 魅力ある町づくりが重要だが見解は

町 ▶ 転入促進に寄与すると考える

問 新たな子育て支援に取組む考えは。

答 【こども未来課長】保育施策として、こども誰でも通園制度を来年度から実施予定。また、産後の心身ケア事業の強化や養育環境の支援等の整備を実施。

問 少子化対策に女性の視点を生かした取組みは。

答 【こども未来課長】こども計画策定時等に、女性委員に多く関わっていただき、女性視点を重視し、施策形成実装時に反映している。

問 魅力ある町づくりが若者の転入促進に繋がると考えるが町の見解は。

答 【ふるさと定住課長】魅力あるまちづくりが転入促進に寄与すると考える。具体的には、自然環境や子育て環境の充実、移住支援や住宅取得補助、地域優良賃貸住宅整備など住まいの選択肢を広げる取組みを進めている。

問 魅力作りに教育環境整備が重要。奨学金返還肩代わり制度導入は。

答 【学校教育課長】移住定住の総合的な政策として検討し、返済支援も議論していきたい。



令和7年 第7回定例会 傍聴者(一般)アンケート集計結果

定例会アンケートにご協力いただきありがとうございました。
皆様のご意見を議会活動に反映するよう努めます。
アンケート結果は、ホームページにも掲載しております。

他のご意見等はこちらから



開催日	傍聴者(人)	回答者(人)	回収率(%)
11月28日	2	2	100.00
12月 1日	28	21	75.00
12月 2日	4	3	75.00
12月10日	3	2	66.67
合計	37	28	75.68

議会を傍聴されて気づいた点、ご意見をいただきました。

回答

議案9号が50ページ以上の文書を全員に渡して説明していたが全員がタブレットを持ってるのに何故ペーパーレスにしないのでしょうか。

当初予算を紙で作成しているので整合性をたもつため、今回の補正予算書も紙での作成となりましたが、更なるペーパーレス化に取組んでまいります。

各議案、報告の町長からの理由説明で一部滑舌が悪く聞き取りづらいところがあった。発言スピードなどはゆっくりでわかりやすいので、もう少し発表に向けて読み込むなど改善をお願いしたい。

提案理由など聞き取りやすく発言するよう申し入れます。

予算書の説明では頁数を言わなくても傍聴者にはわかりません。配布は無理でも回収資料として貸与や画面表示などを導入して傍聴者にもわかる運営をお願いしたい。

モニター画面に表示するなど、傍聴者にも分かるよう工夫してまいります。

議員質問に対して、再質問をもっと深くするべきである。

有効な再質問の在り方について心がけていきます。

議員の質問に対しての答弁が不十分であると思われる。疑問のまま事業が進行ていきそうで不安である。スキー場跡地への除染除去土壌の集約は周辺のみならず、那須町全体への影響が大きい。なぜ変更になったか、より利点が大きかったのか知りたい。

牧場跡地の有効活用や除去土壌の集約事業について、明確な答弁が得られるよう心がけてまいります。

議会又は議員について、ご意見をいただきました。

回答

行動が見えない。見える行動を積極的にしてもらいたい。町民は議員の顔を見たいと思っている。町民の代表としてあちこちに顔が見えるよう行動していただきたい。

現在、各種イベントに参加したり、町民の皆様と議会報告会や各種団体との意見交換会などに取組んでおりますが、更に議員が身近に感じてもらえるような活動に努力してまいります。

子どもの保険税減免に質問で他市町より～と発言があったが、視点が那須町が他市町からどう見えるかの論法に聞こえます。優れている施策があるのはほこらしいが優れている施策の充実よりもおどっている部分を強化した方が良いのでは?(他質問でも他市町では～ができるが那須町は?というのもあるので)

ご指摘のとおり他市町と比べ優れている施策より劣っている部分を、いかに強化するかが重要と考えます。今後も議会として他市町の優れている施策の調査や研究に努めてまいります。

議会の様子を町民に示す意味、町政に興味を持ってもらう意味でも町民ホールにLINE映像を流したりできませんか?

録画配信はしておりますが、映像を町民ホールに流すこととは、一案と考え参考にさせていただきます。

※意見は原文のまま掲載しております。

10月3日(金)に中学生議会を開催しました

町立中学校の3年生が「中学生が考える未来の笑顔のため今できること」について、プレゼンテーション形式で町議会に提案しました。

学校名	プレゼンテーション内容	生徒名
那須中央 中学校	人口減少「地域社会を守るために」	たかの 高野 ゆうか 結夏さん ふるうち 古内 みやび 雅さん
	交通 「那須町民の生命を繋いでいくためには」	いとう 伊藤 あかり 朱莉さん さとう 佐藤 まゆ 麻結さん ひとみ 人見 ゆかり 優花里さん ましこ 益子 さくら 桜さん
	自然と観光の両立 「私たちが思う観光と自然」	ごとう 後藤 みか 美嘉さん さいとう 齋藤 さらさん たじり 田尻 はるわ 陽羽さん つだ 津田 ゆいな 結奈さん
那須 中学校	空き家をみんなが集まる場所へ	たかく 高久 てつpei 鉄平さん わたなべ 渡邊 がく 岳さん こはら 小原 たいせい 大生さん
	誕生☆湯本坂商店街	こうら 幸良 そうた 草太さん いのうえ 井上 るい 琉偉さん いとう 伊藤 きょうか 鏡花さん こはぎ 小萩 さな 沙南さん



傍聴者からいただいた感想

(原文のまま掲載しています)

中学生の考え方方がとてもしっかりしていて、正直驚きました。皆しっかり発表していて素晴らしいかったです。

議長から一言

わかりやすく町の課題をとらえたプレゼンでした。今回の提案を1つでも多く実現できるように議会でも取組んでいきたい。
将来、那須町を盛り上げていく存在になってほしい。

議会議員研修会

10/
20
月

那須地区広域研修センター（那須塩原市）で那須市町村議会議長会と那須市町村会合同の勉強会が開催されました。勉強会では「とちぎの公共交通」について、栃木県県土整備部交通政策課の方による講演をお聞きした後、グループワークを行いました。

11/
18
火

弁護士の太田雅幸氏を講師にお招きし、那須町役場正庁にてハラスメントについての研修会を開催しました。この研修会には町議会議員のほか管理職である町職員も受講し、ハラスメント防止や対処のための取組みについて学びました。



ハラスメントについての理解を深めた

11/
25
火

栃木県総合文化センターで栃木県町村議会議長会主催の議員研修会が開催されました。「議員報酬の改善に向けた現況と課題」、「議会におけるデジタル活用を通じた政策立案・政策議論とは」について研修を受講しました。

那須町女性団体連絡協議会との意見交換会を行いました

11/
17
月

那須町女性団体連絡協議会の皆さんと「那須町の問題点について考えてみよう」というテーマで、2班に分かれて意見交換会を行いました。公共交通、渋滞対策、自主防災組織の持続的な運営や少子化対策など様々なご意見をいただきました。今後の町議会の取組みに活かしたいと思います。



たくさんの参加をいただき
ありがとうございました

いただいたご意見の一部を紹介します

公共交通について

- デマンド交通の利用方法が難しい。
もっと簡単にほしい。
- 利用方法など町民の理解が進んでいない。
周知に取組んでほしい。

自治会について

- 高齢化による自治会員の減少。
今後どう維持していくか。
- 自主防災組織がもっと活発になると良い。

総務産業常任委員会の活動報告

10/
3金

所管事務調査 総務課・建設課ヒアリング

議会フォーラムでいただいた意見に基づく状況確認

- ・自治会の存続について
- ・道路整備について
- ・防災・防犯について

議会フォーラムでいただいたご意見で、状況確認が必要なものに関して、一つ一つ確認を行った。ご意見を町政に反映していくためには、今後どのように進めていくべきか、ヒアリングした内容を基に委員会内でも議論を深めていきたい。

所感

10/
8水

所管事務調査 猿友会との意見交換会

猿友会の皆さまと意見交換を行った。那須町の鳥獣被害の現状や活動における課題や問題点など、様々な意見を伺うことができた。エリアによって、被害や課題も異なるため、地域にあった対策が必要。猿友会に頼りすぎず協力体制を整えて取組んでいくことが重要。

人員不足をはじめ、全国的に被害も出ているクマ対策等、負担は確実に増えていると感じた。リスクも伴う活動であるので、見回り等の活動や罠の設置など補助に対しては見直しも必要になってくるのではないか。町民の安全安心のために、状況をこまめに共有し把握しながら、対策を考えていく必要がある。

所感

議会運営委員会行政視察

10/
6月

行政視察 三重県員弁郡東員町議会

いなべぐんとういんちょう

人口：25,784人

面積：22.66km²

東海地方幸福度1位

コンパクトなまちづくり

調査事項：議会改革・政策提言、議員報告会などについて

自由討議（議員間討議）

- ・議案賛否の前に議員間討議を実施する。
- ・追認議会からの脱却を目指す。
- ・通年議会の導入。

議員報告会

- ・町民の目に見える議会を目指す。
- ・報告会に茶菓子を提供して和らいだ雰囲気を出す。

所感 町民の目に見える議会を目指し議員間討議を活発に行っている。那須町でも通年議会を検討する時期に来ていると思う。

10/
7火

行政視察 三重県度会郡玉城町議会

わたらいぐんたまきちょう

人口：14,733人

面積：40.94km²

調査事項：議会改革・委員会協議会、中学生議会などについて

- ・一般質問の通告書に基づく質問内容を事前ヒアリング実施。
- ・住民要望や町の課題を反映した質問形成に努める。
- ・議員懇談会の実施。
- ・中学生議会／各クラスから代表質問者と議長を選出、議員が執行部となり答弁する。

答弁資料は議員が作成して執行部が点検。

所感

ケーブルテレビの活用や広報誌の自費出版など独自に活動する姿勢が見られた。

議会広報特別委員会の活動報告

10/
6月

行政視察　日光市

調査内容：議会広報紙の編集について

- ・デジタル化による紙面づくり。
- ・一般質問を二次元コードから読んでもらう取組みを実施。実施後、市民の反応を知るためのアンケート調査は行っていないが高齢者等からの問い合わせは特にないとのことでした。
- ・デジタル化によって広報紙作りに費やす時間の短縮が実現。



たくさんの意見が交わされた

所感

読み手の事を考えると一概にデジタル化を進めて良いのか更に調査研究が必要と感じた。
様々な形で町民の声を聞き反映させるべきと感じた。

議会広報モニター会議を開催しました

11/
19水

令和7年度第2回目の議会広報モニター会議を開催しました。

議会だよりの編集や議会の広報活動について、モニターの皆さんから様々なご意見をいただきました。
いただいたご意見については、今後の編集の参考にしたいと思います。



多くのご意見をいただき
ありがとうございました

いただいたご意見の一部を紹介します

議会だよりについて

- ページの最初に興味をそそるものがあつたほうがいい。
- イラストをもっと使ったほうがいい。
- 表紙に、手に取ってもらえそうなキャッチコピーを載せたほうがいい。
- 目次も漢字だけなので読みにくい。
ページ数も少ないので目次をなくしてもいいと思う。

- 九尾まつりで、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に来ている子どもたちに、風船などと一緒に「議会だより」を配るのはどうか。
- 一般質問のページの議員の顔写真が硬いと思う。

この他にも、たくさんのご意見やアイデアが
出て、有意義な時間となりました♪

次ページは

行政
視
察
受
入

行政視察を受け入れました

令和7年4月から11月までの間に、下記の5団体からの視察を受け入れました。

7/
16水

神奈川県葉山町議会
(友好都市)

視察事項

- ・那須町手話言語条例について
- ・那須町議会報告会について

7/
31木

宮崎県串間市議会
総務教育常任委員会

視察事項

- ・サイクルスポーツによる
まちづくりについて

8/
25月

新潟県加茂市議会
産業民生常任委員会

視察事項

- ・那須町の観光について

10/
22水

山形県寒河江市議会
厚生文教常任委員会

視察事項

- ・旧朝日小学校の利活用
(那須まちづくり広場)について

11/
13木

岩手県県南地区町議会議長会(金ヶ崎町、西和賀町、平泉町、住田町)

視察事項

- ・議会改革について
- [議員報酬、議員定数、
議会基本条例等]



岩手県県南地区町議会議長会の皆さまと

3月 定例会の予定 2月26日(木)～3月13日(金)

日	月	火	水	木	金	土
2/22	23	24	25	26 定例会 開会	27 総括質疑	28
3/1	2	3 一般質問 (第1日)	4 一般質問 (第2日)	5 常 任 委員会	6 常 任 委員会	7
8	9 予算審査 特別委員会	10	11 予算審査 特別委員会	12 常 任 委員会	13 定例会 最終日	14

議員全員協議会 傍聴のご案内 (2月から4月)

2月19日(木)、3月25日(水)、4月20日(月)

時間：午前9時から

※開催日時は変更する場合がありますので、予めご了承ください。

議会のスケジュールは、
町ホームページ「那須町
議会カレンダー」から確
認できます。



QRコード
12月本会議をインターネットで動画配信しています。

町民の声



いけだ かな
池田 佳奈さん(守子)

私は県外から那須町へ移住してきました。自然に囲まれた環境はもちろんですが、移住定住のサポートが整っており、初めての土地でも不安なく生活を始めることができました。また、少子化対策や婚活事業などを応援する取り組みが充実している点にも感銘を受けました。私自身も婚活事業を主催する立場として活動していますが、那須町には前向きな取り組みがあり、活動する中でもその魅力を実感しています。今後は、町の取り組みとも関わり、より多くの方が出会いや結婚を考えられるような場づくりに貢献できるよう協力できればと思っています。

少子化対策と言うと子育て支援に目が向かうのですが、それ以前に、結婚や定住について安心できる環境が大切だと思います。那須町には、暮らし始めた後の生活まで見据えて前向きに思い描ける土台があり、移住者としてとても心強く感じています。

表紙のことば



晴天の中、元気よく! 学びの森 ふれあい祭り!

今年は、学びの森小学校創立10周年を記念して、全児童と地域の方々でのバルーンリリースが行われました。青空に飛んでいくカラフルなバルーンに歓喜の声が上がっていました。

編集室

那須の山々は、一瞬たりとも同じ姿を見せません。たとえば新緑の季節なら、たった数日で山の緑が深く濃くなっていますし、秋の紅葉は、朝夕で色彩が移り変わるドラマのようです。私たちは、この予測不能で美しい自然のサイクルの中で暮らしています。「変化」は自然界の常ですが、それは私たちの「まちづくり」にも言えるのではないでしょうか。今回の議会だよりの紙面づくりを通じて、私たちが感じたのは、まさにこの那須の「変化」と「持続」のバランスを真剣に議論しているということでした。私たちの仕事は、目先の便利さや短期的な結果だけを追うのではなく、「5年後、10年後の那須町」という未来を見据えた話し合いです。未来は、一朝一夕で完成するものではありません。町の変化に合わせて、一つひとつ課題を乗り越えていく、粘り強いプロセスが必要です。町と議会と地域の皆さまがトリオとして一緒にステージに立ってこそ、まちづくりのスタートラインに立てると思います。議会だよりの編集は、その議論の熱量と、未来への願いを、いかに皆さんに分かりやすくお伝えできるかという挑戦もあります。この一冊が、那須の美しい山々を眺めるように、少し先の「まちの未来」に想いを馳せていただききっかけになれば幸いです。ぜひ、この紙面を通して、私たち議員が地域の皆さんにわかりやすく今の町をまとめていて、未来の那須を描こうとしているのか、ちょっと覗いてみてください。皆さまの声こそが、このまちの未来を形作る大切な養分になります。(三浦)

スマートフォンやタブレット端末から
「なすまち 議会だより」を読むことができます。

TOCHIGI ebooks
(栃木イーブックス)



マチイロ



音訳版

今号は
3月中旬頃
掲載予定



議会傍聴の手話通訳について

傍聴希望日の7日前までに電話、もしくは下記の二次元コードから申し込みください。

☎ 0287(72)6926



議員の寄付行為の禁止について

公職選挙法の規定により、議員が金品などの物を贈る寄付、地域への催し物への寄付や差し入れすることは禁止されています。また、議員に対し、寄付を出すよう勧誘する、また要求することも禁止されています。皆さまのご理解をお願いいたします。

発行人 那須町議會議長 斎藤 則人

編 集 那須町議会広報特別委員会

〒329-3292

栃木県那須郡那須町大字寺子丙3番地13

☎ 0287(72)6926

町の気になるところを調査！

議員見聞録

レポート
第19弾

「那須歴史探訪館」の巻

今回は、「那須歴史探訪館」をレポート！

芦野御殿山の麓に位置しており、隈研吾氏の設計による歴史を感じさせる建物が特徴。学芸員の作間さんに探訪館を通した那須の歴史の魅力について伺ってきました。



何度来ても楽しめる！ 魅力的な企画展

常設された展示の他に、年に数回、テーマ展や企画展が実施されており、様々な那須の歴史に触れることができます。テーマは、その年に関連したものや話題のもの等、その時々に合わせて興味を持つてもらえそうなものを選んでいます。

トピック展
「芦野と戦国時代」開催中！



▲歴史への興味を引き出す出張講座

出張講座でも 歴史を伝える取組み！

リクエスト等に応じて、出張講座も行っています。小学校や公民館等での講座は、とても好評です。参加する方々の興味のあることから、講座内容も一緒に考えることも可能！



文化財の調査・収集や保管も大事なお仕事！

探訪館での展示や説明等の業務の他にも、町内の文化財の調査・収集をし、綺麗な状態で保管することも重要な業務です。その中の1つ、古文書のクリーニング作業は毎週「ボランティア古文書応援隊」の町民の皆さんと共にしています。興味のある方は、ぜひご参加ください。

大量の資料を保管する場所の確保も必要 ▶



学芸員の作間亮哉さん

那須町の歴史を知ることで、もっと町を好きになるきっかけになると思います。歴史探訪館に足を運んでいただき、歴史に少しでも興味を持ってもらえるよう、これからも色々と工夫して取組んでいきたいです。皆さまのお越しをお待ちしています。

那須歴史探訪館
〒329-3443
那須町大字芦野2893
☎0287-74-7007



見聞 後記

那須町には歴史的な文化や人物がたくさん存在しており、それらを後世に繋いでいくことはとても重要である。歴史探訪館においては、展示し伝えるだけではなく、収集し守る役割も担っていることを忘れてはいけない。町民の皆さんにその重要性を伝え、探訪館のみならず、町全体で歴史を受け継いでいく仕組みを作っていくよう、議会としてもできることに取組んでいきたい。